

## 沈まぬ太陽を見よう！

10月24日から「沈まぬ太陽」が放映されています。この映画は、日本航空の官僚的（自らの立身出世や利益）で、それを阻害するものは全て力で排除するという、傲慢で自分勝手な経営から招いた御巣鷹山事故を背景に展開された映画です。

会社の傲慢さや、そこにはびこる御用（会社）組合の実態は、まさに今のJR東海と瓜二つで、ユニオンの誕生、存在価値が「なるほど！」とよく解かります。JR西日本が、この御巣鷹山事故を教訓にしなかった結果として引き起こした信楽高原鉄道事故や福知山線事故は、私たちにとっても他人事ではありません。

事故の根幹である異常な労務管理は、「JR東海の方がもっと異常である」とも言われている状況で、残念ながらそれを糾すために奮闘する労働組合は少数です。だから、会社の異常な労務管理は鳴り止むことなく、さらに肥大しています。社員の自殺が後を絶たない状況がその異常さを示していますが、このままでは、いつ大事故が起きてもおかしくない状況です。

私たちJR東海労は、この傲慢な会社を変えるために闘っています。映画「沈まぬ太陽」でも、会社によって少数にされた労働組合が現状を変えるために闘い、安全と会社を守っています。

皆さん、ぜひこの「沈まぬ太陽」をご鑑賞ください。そして、日本航空の実態をJR東海の問題として認識してください。